

平成30年度第5回九州厚生局地域包括ケア市町村セミナー

- 今回のテーマ 高齢者における権利擁護を考える
～地域支援事業からの取り組みを考える～

- 目的 高齢者権利擁護等推進事業については、これまでに様々な取り組みを行ってきたが、本事業を推進するためには、関係機関との連携、介護相談員等の外部の活用など考えられる。
本事業によりサービスの適正化、質の向上改善につながっている事例を紹介し、改めて制度の役割を考える。

- 対象 市町村職員等
(県庁職員、関係機関等の傍聴可)

■ プログラム

【第5回 平成30年11月30日(金) 【佐賀県庁 新館11階大会議室】
※佐賀県共催 (佐賀市城内1-1-59)

①開会挨拶	13:00～13:10	【九州厚生局】【佐賀県】
②行政説明	13:10～13:40	【厚生労働省老健局認知症施策推進室】 「認知症の人の日常生活・社会生活における 意思決定支援ガイドラインについて」
③事例報告	13:40～14:20	【NPO法人市民後見人の会・ながさき】 「市民後見人の現状と課題について」
④事例報告	14:20～15:10	【一般社団法人市民介護相談員なは】 「介護相談員の現状と課題について～市民 介護相談員なは(沖縄県)の取り組みから～」
⑤グループ討議	15:20～16:50	
⑥連絡事項	16:50～17:00	